合併の効果やメリットは？

県１ＪＡが実現すれば、コメの販売高が日本一になる等全国トップクラスの事業規模になります。また、連合会等の県域組織を含めたオール秋田体制「ＯＮＥ（ワン）－ＪＡ秋田」となることで経営資源（ひと、モノ、資金、情報等）が集結し、より強固な経営基盤が確立できます。

こうした大規模化のメリットを組合員の皆様へ還元することが県１ＪＡの最大の使命と考えています。これまで以上に販売品は「より高く」、購買品は「より安く」を追求していきます。各事業において、組合員をはじめとした地域の皆様にメリットを感じていただけるような事業展開を目指しています。

組合員のデメリットは？

組合員を代表する総代や役員が減少してＪＡとの距離が遠くなるのではとの声をお聞きしますが、地区別の総代協議会や地区運営委員会、目的別懇談会の設置等によって皆様の意見を経営に反映することができる仕組みを検討しています。

組合員の皆様がデメリットを感じることの無いよう、一つひとつの課題について最善策を検討して参ります。

地域ブランドはどうなるの？

農畜産物や加工品等の既存の地域ブランドはその販売機能の維持・拡大を基本とし、更なるブランド強化を図ります。また、広域化が可能なものは生産者の理解を得ながら産地拡大・産地間連携が進められるよう検討しています。

県域組織はどうなる？

中央会をはじめ全農や農林中金、共済連、厚生連等の県域組織が行っている事業や機能を「ＯＮＥ－ＪＡ秋田」としてどのように展開するべきか検討中です。

全国トップクラスの大規模ＪＡの優位性を存分に活かし組合員の皆様へ還元するために、事業承継や機能移管等、最適な形を協議しています。

職員の処遇等はどうなるの？

原則として職員全員が新ＪＡに引き継がれます。事業エリアが県域ですので勤務地が遠方になることも考えられますが、合併によって大切な人材の流出に繋がらないよう働き方等が選択できる複線型人事制度の採用を検討しています。

他の県の状況はどうなってる？

県１ＪＡを実現しているのは奈良、沖縄、香川、島根、山口の５県です。また、県１ＪＡではないものの大規模合併ＪＡが実現している県も増えています。

全国各地で県域合併に向けた取り組みが加速的に進んでいて、検討中の県と実現済みの府県を合計すると25府県という状況です（令和２年２月現在）。

山羊座（12・22～1・19）　しまったと思ったら一度立ち止まって考えましょう。運気は下旬から上昇。後から駆け付けた方が吉と出ます